

令和6年度ほっかいどう未来輝く子育て大賞の選考結果について

○目的

- ・道内において、子育て支援活動に意欲的に取り組む団体や個人、企業を表彰し、その取組を積極的に周知することにより、民間における創意工夫ある子育て支援の取組を促進し、地域全体で子育てを支援する気運の醸成を図る。

○選考の概要

- ・応募のあった11者について、評価検討会による審査を実施のうえ、次の4者を受賞者として決定。
(評価検討会は、北海道こども施策審議会委員及び特別委員で構成。)

受賞者	主な活動内容
子育てサポート 「メロンキッズ」 (訓子府町)	・子育て支援センター内において、保護者のニーズに応える個人託児を実施しているほか、町のこども園や小学校のPTA行事、町の行事等に気兼ねなく参加できるよう各行事等の主催者から依頼され集団託児も実施。
青空自主保育とちのみ (妹背牛町)	・子育て活動（自然の中での遊び、季節の行事や手仕事）を実施。 ・母親が主体となり、ミーティングを行い、活動内容を決めたり、子育ての悩みやうれしかったことをシェア。 ・町内・町外から講師を呼び、ワークショップやイベントを開催。
子育てサロン 「おとぷけ通りくるみ」 (音更町)	・子育てサロンに加え、不要となったベビー用品等を経済的な負担軽減等を目的に、無料レンタル。 ・医療的ケア児の親を対象に子育てサロンを無料開放しているほか、「発達支援トークの日」「育児グッズ譲渡会」など、参加者の声から必要とされる活動を実施。
たすけあいワーカーズ ふわっと (江別市)	・学童保育「放課後児童クラブふわっと」を毎日運営。 ・多世代交流の場として「ふれあいサロン～カフェ ふわっと～」を開催。 ・未就学児親子の広場として「子そだてひろばふわっと」を開催。 ・不登校支援として、子どもの居場所「ふわっと：Time」を開催。